

2023.4.18

## Euroluca/エウロルーチェ 2023 出展社情報

デジタル化、小型化、電動化、持続可能性、新素材、総合的思考と装飾照明・技術照明との境界線が限りなくなくなることで、美学と機能性を兼ね備えた新世代の基礎が形成された照明を、新しいエウロルーチェで一堂に会します。

光は、ハイパーコネクテッドワールドの中心であり、サステナビリティやデジタル化プロセスに関する考察の中心であると同時に、人間の幸福に関するホリスティックな思考の中心でもあります。私たちは、光が知覚、パフォーマンス、嗜好、行動、そして気分さえ影響を与えることを知っています。そのため、照明デザイナーは、**技術の進化**だけでなく、**光をめぐる哲学的な考察**を取り入れ、これからの照明器具のあり方を変えるような新しいコンセプトを提案することが求められているのです。エウロルーチェは、**4つのパビリオン(9-11、13-15)**に分かれた **29,229 m<sup>2</sup>**の展示スペース（イベントやパブリックスペースを除く）と **315社**（うち約**45%**は国外）が出展、業界の国際的なベンチマークである見本市の第31回目でこれを提案します。

### 【持続可能性】

照明業界では、この10年間、省エネが大きなテーマの一つとなっています。現在では、**設計・生産の両方**で、さまざまな取り組みが導入されています。

まず**デザイン面**では、**低消費電力で高効率のLED光源**が開発されています。新しいソリューションはますますスマートになってきており、光を正確にかつ継続的に導くことができるため、不必要な無駄を省くことができます。**ネットワーク化された新しい制御システム**は、**時間指定起動と調光**を可能にし、内臓センサー、個別制御システム、Tunable White（白色光の調色）技術と組み合わせることで、必要なときだけ点灯し、自然光と組み合わせることで特定の作業を行うために必要な光量で、**エネルギー効率の高いダイナミックな照明を実現**します。

**生産面**では、照明器具の**製造と販売**において、**循環型経済の導入**が進んでいます。**革新的な素材**を追求することで製品の**耐久性を高める**ことはもちろん、**リサイクルや再生可能**で

負荷の少ない原材料を使用し、複数の用途に適した照明器具を賢く生産することで、金型の数や生産に使う機械からの排出を制限することが可能になります。

- **Ambientec 「MADCO (マドコ)」 ホール 15 | スタンド 131**

修理可能であることはもちろん、末長く質を保ち続けられる素材を選び、独自の精密防水技術やバッテリー稼働式 LED 制御技術を採用しています。これらの特徴は **Elisa Ossino** (エリーザ・オッシノ) がデザインした 360 度光源が可動する新しいタイプのポータブルランプ、「MADCO (マドコ)」に見ることができます。本質的なライン、幾何学的形状、光のデザインによって、あらゆる方向に光を向けることができる照明です。

照明デザイナーは、**自然光と人工光の関係を再考し**、両者を最適な形で組み合わせることで、革新的で持続可能な照明を目指しています。**屋内**では自然光を最大限に利用して廃棄物を減らし、環境を保護することを目指し、**屋外**では太陽エネルギーを利用して電力を供給できる照明器具に焦点をあてているのです。

- **Cariboni Group (カリボニー・グループ) : 「Spoon (スプーン)」 ホール 13 | スタンド 202**  
**Atelier(s) Alfonso Femia** (アトリエ・アルフォンソ・フェミア) がデザインした新しい都市照明システム「**Spoon (スプーン)**」プロジェクトで、この関係を推し進めました。このプロジェクトは、都市の快適さを定義する上で、照明を現代のシナリオに合わせる必要があるという事実を反映しています。**Spoon** は、Eco-Centric Lighting 光学を搭載し、動植物の生体リズムや人間の安全と幸福のニーズを尊重しながら、光と闇の新しいバランスを夜間に提供します。各ランプは、過酷な環境にも耐えうるよう設計されており、長寿命です。光源と電源、制御ユニットを交換しメンテナンスやアップグレードができ、製品の寿命を延ばします。

### 【デジタルゼーション】

照明技術分野でも、デバイスと人工知能システムの通信を可能にし、ユーザーが簡単かつ効率的に光源を管理できるようにする**コネクテッドフューチャー**に向けての大きな前進があります。**IoT 制御システムの統合**により、**能動的に変化する光**を生み出すだけでなく、**データの収集**もサポートし、**スマートフォンやタブレットで制御してパーソナライズされた照明**も生まれました。市場、企業、デザイナーは、特にワークスペース、店舗、美術館、病院、駅、空港などの公共の場で、単に光を提供するだけでなく、情報源や信号ツールとなる照明器具の開発を試みています。更に、**LiFi (Light Fidelity) 技術**の初期のアプリケーションは、すでに現実のものとなっています。これは、LED から発せられる光波を利用して**無線でデータを送信**するもので、この進化により、すべての LED 光源が情報送信装置に変わる可能性があります。デジタル化の進展は**製品デザイン**にも**影響を与え**、**光量や質、光線の方向**など、外部からの刺激に反応することができる、**よりダイナミックな光**を提供するようになります。

- Preciosa Lighting (プレチオーザ・ライティング)「Crystal Beat (クリスタル・ビート)」: ホール 9 | スタンド 210

Michael Vasku (ミハエル・ヴァスク) と Andreas Klug (アンドレアス・クルーグ) がデザインした「Crystal Beat (クリスタル・ビート)」を展示します。クリスタル・グリッドのみで構成されたダイナミックで没入感のあるインスタレーションで、音楽、デザイン、光が完璧なシンフォニーとして融合しています。来場者が音を再生できるインタラクティブな「心臓部」のおかげで、3次元オーディオシステムがその強度を増幅し、クリスタルの間で「光のリズム」を拡散させ、音の知覚を真の視覚体験に変化させます。このシステムは、シンプルでクリーンなラインを特徴とし、光源を組み込んだ手吹きクリスタルのチューブ状エレメントが、グリッド状の構造で吊り下げられ配置されています。

### 【HCL ヒューマン・セントリック・ライティング】

照明デザインの分野で革新的なのは、人間の生理的・神経生理学的な側面と、その居住空間の建築との関係を明らかにした**神経科学**です。照明デザイナーの仕事は、**光の人間への影響**に関する科学的発見にますます影響を受けています。もはや空間を照らすだけでなく、**人間のパフォーマンスを向上させ、照明シーンが喚起する幸福感や快適さを増幅させる**ためにデザインすることが必要なのです。そのため、**ヒューマン・セントリック・ライティング (HCL)**は、**高品質でダイナミックな光**を提供することによって、人々を「気持ちよく」させることを目的としています。1日のうちで強度を変化させ、集中する時間と休む時間を交互に作り、人間の概日リズムを整え、メラトニンの生成を抑制または促進し、光のスペクトルとユーザーのニーズの両面から、できるだけ**自然の太陽光**に近い形で提供することができます。これは、**イノベーションの強力な動機付け**となるものです。今日では、インテリジェント・システムのおかげで、最先端の製品は、**人の身体的反応を感知し、特に色温度や光の色などの照明パラメーターを変更**することによって、ストレスや倦怠感のある状況に介入し、健康な状態を再現することができるようになりました。さらに、**毛様体や眼球の動き**を読み取ったり、**人の姿勢や発汗、動作**などをとらえる高機能センサーを照明機器に組み込むことが、HCLの最後のフロンティアになるでしょう。これらの情報をもとに、ユーザーの無意識のニーズにも効果的に応えられるような製品設計が可能になるのです。

- Lasvit (ラスヴィット)「Symbioosa (シンビオーザ)」ホール 15 | スタンド 212

HCL (ヒューマン・セントリック・ライティング) の研究を活用するラスヴィットは、ガラスと天然成分の相互作用に関する徹底的な研究から生まれた、生物学的な性質を持つコレクション「**Symbioosa (シンビオーザ)**」を発表します。このコレクションは、菌糸を利用した技術で作られた一連のランプで、各要素は、それぞれの環境における自然光のリズムに合わせて強さを調節することができます。人工照明の普及により、日照時間に関わらず照明の利用時間が長くなり、太陽光の強弱や色合いの変化で変化する自然のバイオリズムから人間が遠ざけてしまっています。そこで、LLEV デザインスタジオの **Eva**

(エヴァ)と「**Marcel Mochal** (マルセル・モーカル)」は、Lasvit とともに、自然光の日々の変化のリズムで呼吸し、一日のあらゆる瞬間に最適な照明条件を再現するリビングライトの創造を目指しました。Symbioosa は、調光器をカスタマイズして設定できるデュアルチャンネルシステムを採用しており、個々のニーズに合わせて光の放射を調整することができます。

## 【アウトドア照明】

日常生活において屋内と屋外の境界が曖昧になるにつれ、照明ソリューションも 2 つの空間を媒介し、機能性と快適性を提供するようになりました。

- **Simes (シーメス) 「Puntolineasuperficie (プントリネアスーペルフィーチェ)」**ホール 11 | スタンド 211  
Simes は、直線的な光のサインと時間的な光のアクセントを組み合わせ、建築空間の内と外を連続的につなぐことができる屋外照明システム、「Puntolineasuperficie (プントリネアスーペルフィーチェ)」を発表します。モジュール式で柔軟な応用が可能なため、拡散性のある直線的な光とアクセントのある光の効果を必要とする空間を、パーソナルかつ効率的に照らすことができます。エレガンスと美的清潔感を保ちながら、表面や埋め込み式の設置を可能にする柔軟なアプリケーションは、屋内と屋外の空間をシームレスに繋ぎ、従来は屋内用照明器具に注力してきた企業も、「外」の次元に目を向けています。
- **Catellani & Smith (カテッラーニ & スミス) 「Ale (アレ)」**ホール 11 | スタンド 204  
Catellani & Smith の新しい提案、「Ale (アレ)」は、半球が特徴的であり、4 種類のモデルが用意されています。Ale BE T は、電池式のテーブルランプで、ワイヤレスなのでどんな環境でも持ち運びが可能です。円形のベースは、小さなシリンダーを介して、半球状のキャップを支える「V」字型に配置された 2 本の細長い軸に接続されており、LED が作り出す光を 1 つの軸で方向付けることができます。
- **Martinelli Luce (マルティネッリ・ルーチェ) 「Diatomea (ディアトメア)」**ホール 13 | スタンド 118  
Diatomea は、ベッドサイドに置いたり、ベランダのテーブルに置いたり、アンビエント照明として使ったり、さまざまな使い方ができるテーブルランプとフロアランプです。いくつかのシンプルな要素で構成された Diatomea は、本質的で柔軟な使い方ができます。外側の 2 本のシングルレグと中央のダブルレグは、2 本の LED ストリップを収納する 2 つの水平棒を支え、360° 完璧なアーティキュレーションで、光を集中的に、または直線的に照射します。また、新たにエレメントを追加して拡張することができ、家庭内の環境を超えたさまざまな用途や形状を作り出すことができます。
- **Tom Dixon (トム・ディクソン) 「Choice (チョイス)」**ホール 13 | スタンド 102  
Tom Dixon は、Choice をテーマに、より多くの色やバリエーション、より意外な組み合わせの“選択”を提案し、完璧なインテリアの構築をサポートします。また、充電式で表情

豊か、コンパクトなサイズで屋内外を問わず使えるポータブル照明の新カテゴリーを発表します。

- **Masiero (マジエーロ)「Cordea (コルデア)」** ホール 11 | スタンド 202  
**Favaretto&Partners (ファヴァレット&パートナーズ)** デザインの **Cordea** は、屋内用と屋外用、2 つのバージョンで構成されるこの照明で、産業界の遺伝子を受け継ぎ、素材、仕上げ、色の組み合わせによってより合理的になっています。メタル製のベル型ボディは、ラメ入りラジエーターで覆われ、屋内用ではオリジナルのレザーバンド、屋外用ではラバーバンドで包まれています。メタルボディは 3 種類の仕上げがあり、レザーバンドは 3 色から選べます。そして、メタルボディに自然の色からインスピレーションを得た 6 色のカラーを採用し、形と素材がそれぞれの色に合わせて厳選されています。

### 【光をかたちにするデザイン】

テクノロジーに加え、**詩、感情、美**も今回の主役となります。照明デザインは、もはや「トレンド」としてのスタイルの領域を越え、さまざまな提案や刺激を取り入れ、ありきたりなものを排除し、新しい複数の美的・装飾的提案を考案しています。多くの作品に見られる、シンプルな形と柔らかい色で構成されたミニマリズムは、強い個性を持った光り輝くオブジェや、より造形的ではっきりとした装飾的なスタイルに取って代わりつつあります。自然素材やクラフトにインスパイアされた技法がとスーパーテクノロジーと入れ替わり、小柄なプロポーションやポータブルは、明確な舞台効果や演劇的效果を持つオブジェクトの壮大さとエウロルーチェのステージ上で競い合うことになるでしょう。

- **Bomma (ボンマ)「Divina (ディヴィーナ)」** ホール 13 | スタンド 211  
**Divina** コレクションは色彩と詩情が特徴です。熟練のガラス職人が手吹きした球体は、オレンジ、ホワイト、スモーク、バイオレットといったガラスの繊細なニュアンスを際立たせています。
- **Barovier&Toso (パロヴィエール&トゾ)**「Germogli (ジェルモーリ)」 ホール 9 | スタンド 102  
“植物”が再びインスピレーションの源となった **Germogli** (=スプラウトの意) プロジェクトは、ブランドの歴史的アーカイブにある 1980 年代のデザインからインスピレーションを得て、ヴェネチアン・クリスタルで作られた光輝く杖と葉で覆われた作品です。高さを変えて吊り下げられ、同心円状や螺旋状の形状を描き、折衷的かつ特異な構成となっています。
- **Foscarini (フォスカーニ)**「Fregio (フレーション)」 ホール 11 | スタンド 106  
**Andrea Anastasio (アンドレア・アナスタシオ)** が **Bottega Gatti (ボッテガ・ガッティ)** とともにフォスカーニのためにデザインした照明 **Fregio** にも花の装飾が施され、異なる素材を利用することで新たな表現言語を提案します。このプロジェクトは、光とボリューム

の関係や、光の当たり方によって、リリーフの表現がどのように変化するかを研究した結果、生まれた照明です。テーブルやデスクを彩る吊り下げ式照明は、下にも上にも向けられる重要な光を提供します。このように、照明の機能と装飾の物語のような役割が明確に区別され、ランプを消した状態でも、**Fregio** が空間と対話します。

- **Karman (カルマン) 「Atmosphere (アトモスフィア)」** ホール 11 | スタンド 104  
人工と現実、家庭とジャングル、秩序と混沌の間のハイブリッド環境において、自然がテーマというより、むしろ人間と自然の間の調和の欠如に対する考察を希望のメッセージとして、新しいコレクションを発表しました。それぞれのコレクションは、自然界を観察した結果、物語や思い出を語っています：**Matteo Ugolini (マッテオ・ウゴリーニ)**は、屋外・屋内用フロアランプ **Atmosphere** のインスピレーションを、露のついた草の葉と、その上に完璧なバランスを保っている反射球から得ています。高さの異なるワイヤーは、白または黒に塗装されたグラスファイバーのローレット加工が施された棒で、円形のメタルベース上に設置されています。ドロップは PVC 製の球状の発光体です。
- **Venini (ヴェニーニ) 「Fazzoletto (ファツォレット)」** ホール 13 | スタンド 220  
光と素材の関係を研究し、15 世紀から続くオパリーニ技法を用いて、今日、ブランドのアイコンである花瓶を思わせる照明、**Fazzoletto** (=ティッシュの意)は、軽さを形づくる光が職人の軽やかな手によって表現されています。それは、窯の中でガラス職人が見せる柔らかな仕草により、吹きガラスに、風にそよぐ布のような軽やかなドレープを刻み込みます。
- **Sans Souci (サンスーシ) 「Chin Chin (チン・チン)」** ホール 11 | スタンド 205  
**Karim Rashid (カリム・ラシッド)**による **Chin Chin** (=乾杯の意)コレクションは、コンセプトと形、そして対照的なもの間に調和を見出し、私たちの知覚を弄ぶことを目的として生まれました。陰影のあるナノコーティングが施され、金色のグラスのように見える吊り下げられたクリスタルは、逆さにしたら溢れそうな、乾杯するための満杯のグラスのような照明です。
- **Leucos (レウコス) 「Stacking (スタッキング)」** ホール 9 | スタンド 234  
**David Rockwell (デイヴィッド・ロックウェル)** が 2007 年にデザインした **Stacking** が、今回、伝統的な職人技をうならせる現代的な技法を用いて、サスペンションランプとして再解釈されました。モジュール化されたガラスシリンダーはオリジナルよりも幅が狭く、色の組み合わせはミッドセンチュリーのムラノガラスからインスピレーションを得て、現代的なメタリックカラーのエレメントを散りばめています。さらに、調光可能な LED を搭載し、よりダイレクトな光とソフトな光の両方を楽しむことができます。
- **Oluce (オールルーチェ) 「Berlin (ベルリン)」** ホール 11 | スタンド 116  
エレガンスと機能性、上質でダイナミックな光、シンプルなラインと貴重な素材が、**Christophe Pillet (クリストフ・ピレ)** のデザインによるランプシリーズ、**Berlin** を特徴づけています。フロアスタンディングタイプの **Berlin** は、厚みがあり細身の 2 つの金属製リングで形成され、内側にはネット模様のガラスのディスクが 2 枚収められています。2 枚の



ディスクは、細いチューブ状の垂直なステムで支えられており、照明のニーズに応じて回転させたり向きを変えたりすることができます。**Berlin** は、アルマイト仕上げの真鍮がアールデコを彷彿とさせ、LED は現代的な印象を与えます。必要な場所に光を届けることで、オブジェとの物理的な相互作用を促し、人が自分の光空間を意識的に作り、ニーズに応じて調整することを促します。

- **Slamp (スランプ) 「Aria Infinita (アリア・インフィニータ)」** ホール 9 | スタンド 114  
スランプが使用するテクノポリマーの多様性により、プロジェクトは有機的な美学をまとい、流体と複雑な形状が堂々としていながら非常に軽いオブジェ、例えば、真の光とダイナミックな建築、強い表現力を持つ彫刻的オブジェ、**Aria Infinita** を定義しています。**ZAHA HADID DESIGN (ザハ・ハディド・デザイン)** による作品は、ホワイトとゴールドの正弦波のような詩的で可変的なもので、最小延長 3 メートルから無限に複製できるモジュラーシステムです。密度と光の知覚を注意深く研究することで、その光は観察する場所によって変化し、進化するため、一般家庭およびコントラクトに適しています。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)